

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座V		動物看護総合学科/3年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	三村 梨恵
授業の概要				
7月に行われるサービス接客検定準1級(面接試験)合格を目指し、入退室のマナーやお辞儀の仕方をはじめ、接客のロールプレイングなど練習する。 11月に行われるビジネス文書検定2級の勉強を行う。 前年度に受験した3級を復習しながら、社内文書、社外文書を作成できるようになる。				
授業終了時の到達目標				
サービス接客検定 準1級合格 ビジネス文書検定 2級				
実務経験有無		実務経験内容		
有		<ul style="list-style-type: none"> ・一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年, トリマーとして12年の実務経験 ・接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。 		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	はじめに	試験概要説明 願書記入		
2	敬語について 基本言動の練習 I 表記技能	1. 用字 ①文字を、丁寧に、正しく、読みやすく、整えて書くことができる 2. 用字 ①普通の実用文使い分ける常用漢字とビジネス用語に使われる漢字とを書くことができる。		
3	敬語について 接客応答の練習 I 表記技能	②常用漢字表にはあるが、仮名書きすべき語句を、知っている		
4	敬語について 基本言動・接客応答の練習 I 表記技能	③「現代仮名遣い」について知っている ④「送り仮名の付け方」を、一定の基準に従って正しく使える ⑤数字が正しく書け、漢数字と算用数字との使い分けができる ⑥句読点のほか、各種の区切り符号が正しく使える		
5	接客対応の練習 I 表記技能	八百屋さんになりきって接客の練習 3. 用語 ①一般の用語について、知っている ②やや難しい同音異義語や異字同訓語を使い分けができる		
6	接客対応の練習 I 表記技能	③慣用の手紙用語について、知っている		
7	電話で聞き取りにくい用語 接客対応の練習 I 表記技能	4. 書式 ①縦書き通信文の構成とレイアウトについて、一応、知っている ②公印の押し方について、一応、知っている		

回	テーマ	内 容		
8	漢字の部首について 接客対応の練習 Ⅰ 筆記技能	過去問		
9	検定に向けて練習 Ⅱ 表現技能	1. 正確な文章 ① やや長い文を、文法的によじれなく書くことができる ② 意味の近い類義語を、使い分けることができる		
10	検定に向けて練習 Ⅱ 表現技能	③ 曖昧な用語や二通りに解釈できるような語句について、知っている 2. 分かりやすい文章 ① 内容を的確にした表題が付けられる		
11	検定に向けて練習	② 箇条書きなどを使って、文章を分かりやすくすることができる ③ 分かりやすくするための図表が十分書ける		
12	検定に向けて練習	3. 礼儀正しい文章 ① 人を指す言葉・敬称を、よく知っている ② 「お・ご」を正しくつけられる		
13	電話検定対策 Ⅱ 表現技能	③ 動作の言葉に付ける尊敬語と謙譲語とを、一般的な場合に、正しく使うことができる		
14	電話検定対策 Ⅱ 表現技能	④ 丁寧な言葉遣い・丁寧な言い回しができる		
15	8月のインターンに向けて	諸注意 面接練習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビジネス文書検定受験ガイド1・2級		期末試験 出席率 実習・実技評価	80.0% 10.0% 10.0%	検定結果を期末試験の代わりとします。 【準備学習】 前回の改善点を、次回までに修正練習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座VI		動物看護総合学科/3年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	三村 梨恵
授業の概要				
ビジネス文書検定2級合格に必要な、3級よりも高度な知識を身につけ、社内文書、社外文書を作成することができる				
授業終了時の到達目標				
ビジネス文書検定2級合格 社会人として必要なマナーを身に付ける				
実務経験有無		実務経験内容		
有		<ul style="list-style-type: none"> ・一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年、トリマーとして12年の実務経験 ・接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。 		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	Ⅱ表現技能	⑤現在用いられている手紙上のエチケットやしきたりを、知っている 過去問題		
2	Ⅱ表現技能	過去問題		
3	Ⅲ実務技能	1. 社内文書 ①一般の社内文書がかける		
4	Ⅲ実務技能	1. 社内文書 ①一般の社内文書がかける		
5	Ⅲ実務技能	2. 社外文書 ①普通の業務用社外文書が、文例を見て書ける ②簡単な社交文書が、文例を見て書ける		
6	Ⅲ実務技能	2. 社外文書 ①普通の業務用社外文書が、文例を見て書ける ②簡単な社交文書が、文例を見て書ける		
7	Ⅲ実務技能	3. 文書の取り扱い ①受発信事務ができる ②「秘」扱いの文書の取り扱いについて、よく知っている		
8	Ⅲ実務技能	③適切な郵便方法を選ぶことができる ④用紙の大きさ、紙質などについて、知っている ⑤印刷物の校正ができる		
9	Ⅲ実務技能	過去問		
10	Ⅲ実務技能	過去問		

回	テ ー マ	内 容		
11	Ⅲ実務技能	過去問		
12	Ⅲ実務技能	過去問		
13	Ⅲ実務技能	過去問		
14	マナー			
15	お茶の出し方			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビジネス文書検定 受験ガイド1. 2級		期末試験 出席率 課題・レポート	80.0% 10.0% 10.0%	検定結果を期末試験の代わりとします。 【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて、テキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ペット美容学Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
座学				
授業終了時の到達目標				
JKCトリマーC級				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマー経験をいかし試験対策のポイントを説明する		
時間外に必要な学修				
ならったことを復習する				
回	テーマ	内容		
1~14	ライセンス試験に向けてのおさらい	過去問題から解説		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCグルーミングマニュアル		期末試験 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
プロフェッショナルトリミングⅠ		動物看護総合学科/3年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	75回	5単位(150時間)	必須	三村, 吉本, 森, 山地, 北村
授業の概要				
様々なトリミング犬種のカットスタイルをマスターする				
授業終了時の到達目標				
2時間以内にカットの仕上げまでができるようになる				
JKCトリマーライセンスC級及びトリミングライセンス1級試験合格を目指す				
実務経験有無	実務経験内容			
有	【実務経験】	吉本真紀 森 純子 三村梨恵 山地香里	トリマーとして27年 トリマーとして14年 トリマーとして13年 トリマーとして3年	
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~10	応用	トリミング犬種を中心とした実習 トリミング実習に続くカットの仕上げを行う		
11~29	応用	トリミング犬種を中心としたトリミング実習 犬体を考え、カットの理解を深める		
30	モデル犬チェック	2時間で担当犬の全身カットを仕上げる。 ライセンス試験に向けての練習		
31~59	応用	トリミング犬種を中心としたトリミング実習 犬種、犬体に応じたカットを考える		
60	モデル犬チェック	2時間で担当犬の全身カットを仕上げる。 ライセンス試験に向けての練習		
61~75	応用	トリミング犬種を中心としたトリミング実習 犬種、犬体に応じたカットを考える		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
プロフェッショナルトリミングⅡ		動物看護総合学科/3年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	90回	6単位(180時間)	必須	三村, 吉本, 森, 山地, 北村
授業の概要				
様々なトリミング犬種のカットスタイルをマスターする				
授業終了時の到達目標				
2時間以内にカットの仕上げまでができるようになる JKCトリマーライセンスC級及びトリミングライセンス1級試験合格を目指す				
実務経験有無	実務経験内容			
有	【実務経験】	吉本真紀 トリマーとして27年 森 純子 トリマーとして14年 三村梨恵 トリマーとして13年 山地香里 トリマーとして3年		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~90	トリミング基礎復習	トリミング犬種を中心とした実習 犬種別のカット技術を身に着ける		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	【準備学習】 実習にあたりシ ザーの練習や美容 学の復習をしてお く

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ドッグトレーニング概論		動物看護総合学科/3年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
座学 トレーニングの基礎を犬の生態含めて理解する				
授業終了時の到達目標				
犬と人の共生推進協会主催 家庭犬しつけインストラクター検定C級				
実務経験有無		実務経験内容		
有		警察犬訓練所で5年働いた経験をいかし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
座学の内容を実技に反映させること				
回	テーマ	内容		
1	犬体用語の理解	試験で使用される用語を知る		
2	トレーニング用語の理解	試験で使用される用語を知る		
3~ 4	犬の習性の理解	犬の習性を理解し犬と向き合う大事さを知る		
5	問題行動の現状	問題行動とはどんなことか		
6~ 8	問題行動の対処の仕方	よくある問題行動の対処の仕方を知ろう		
9~ 10	預かり犬のトレーニングプログラム	トレーニングの順番を学ぼう		
11~ 12	クライアントに対してのマナー	クライアント(飼い主)に対してのマナー		
13~ 14	過去問題及び模擬問題の解説	ライセンス試験に向けて勉強		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本ペットビジネススクール協会 ドッグトレーニング		期末試験 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トレーニング実習Ⅴ		動物看護総合学科/3年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
犬の集中力・正確さをやしなう(2年次に履修した内容をさらにレベルアップする)				
授業終了時の到達目標				
実務経験有無	実務経験内容			
有	【実務経験】 トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~10	クリッカー集中	集中力アップ		
11~20	脚側行進中の伏臥	正しい位置での伏臥		
21~29	脚側行進中の停座	正しい位置での座れ		
30	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		期末試験 授業態度 実習・実技評価	50.0% 20.0% 30.0%	【準備学習】テキストを読んで予習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トレーニング実習VI		動物看護総合学科/3年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
犬の集中力・正確さをやしなう				
授業終了時の到達目標				
実務経験有無	実務経験内容			
有	【実務経験】 トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~10	クリッカー集中	集中力アップ		
11~20	脚側行進中の伏臥	正しい位置での伏臥		
21~29	脚側行進中の停座	正しい位置での座れ		
30	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		期末試験 出席率 実習・実技評価	50.0% 20.0% 30.0%	【準備学習】テキストを読んで予習しておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護実習V		動物看護総合学科/3年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	長尾 美花

授業の概要

動物内科看護学で学習した実践能力に応用力を用いて、正確性や迅速性を身に付ける。動物の基礎情報を収集し、診療補助から始まるトータルケアの看護技術を学ぶ。飼い主から得た主訴・病歴などの情報をもとに、全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告が行えるようになる。幼齢動物・高齢動物にみられる特有の状態や疾患を理解し、全身評価ができるようにする。それぞれの動物種と状態に応じた保定技術を身に付け、できるだけ受診動物に負担がなく、かつスムーズに診察・処置が行えるよう、サポートできるように習得する。投薬や輸液が必要なケースにおいて、機器の管理・備品の準備・正確な手技をマスターし、動物の状態観察および看護に努め、院内・犬舎・猫舎・入院舎の衛生管理に努め、滅菌・消毒・殺菌への理解を深めながら感染の予防を実践する。

授業終了時の到達目標

飼い主から得た主訴・病歴など動物の基礎情報を収集し、全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告が行えるようになる。動物種に応じた保定技術を身に付け、できるだけ受診動物に負担がなく、かつスムーズに診察・処置が行えるよう、サポートできるようになる。投薬や輸液の手技、衛生管理をマスターし実践できる。

実務経験有無	実務経験内容
有	動物看護師として22年間、動物病院で勤務

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	動物の基本的な取り扱い	動物に応じた安全なハンドリングができる 動物を安全に散歩・運動せせることができる
2	基本的なグルーミングを実践できる	口腔内衛生管理について
3	身体検査(全身状態を評価できる)	意識レベル・ボディコンシャススコア・粘膜食・体表リンパ節・体重測定など
4~5	バイタルサインを評価できる①	体温、脈拍、呼吸、毛細血管再充填時間、股動脈圧
6	診察補助	診察の準備や診察室の衛生管理ができる
7~9	保定①	基本的な保定を実施することができる
10	聴診器や体温計、注射器を適切に取り扱える	聴診器や体温計を適切に扱える
11	注射器	注射器を適切に扱える
12	採血	採血の手順を修得している
13	薬剤の取り扱い	経口投与、注射の手順を修得している
14	輸液に関わる技術	輸液ルートの準備ができる
15	期末試験	期末試験

回	テーマ	内容		
		評価基準	評価率	その他
	教科書・教材			
	動物看護実習テキスト	期末試験 実習・実技評価 出席率	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護実習VI		動物看護総合学科/3年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	長尾 美花

授業の概要

「動物看護実習Ⅱ・Ⅲ」での実践能力に応用力を用いて、正確性や迅速性を身につける。動物の基礎情報を収集し、診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。飼い主から得た主訴・病歴などの情報をもとに、全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告が行えるようになる。それぞれの動物種と状態に応じた保定技術を身につけ、できるだけ受診動物に負担がなく、かつスムーズな診察・処置が行えるよう、サポートができるように習得する。投薬や輸液が必要なケースにおいて、機器の管理・備品の準備・正確な手技をマスターし、動物の状態観察および看護に努め、院内・犬舎・猫舎・入院舎の衛生管理に努め、滅菌・消毒・殺菌への理解を深めながら感染の予防を実践する。

授業終了時の到達目標

授業概要に記載

実務経験有無	実務経験内容
有	動物看護師として22年間、動物病院で勤務

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	子犬の全身評価	子犬の全身評価法を学び、正常・異常の判断ができるようになる
2	子猫の全身評価	子猫の全身評価法を学び、正常・異常の判断ができるようになる
3	老齢動物の全身評価	老齢動物の全身評価法を学び、正常・異常の判断ができるようになる
4	聴診法	聴診器各部の名称と種類を知り、適切な使用法・管理ができる
5	調剤①	医薬品の正しい取り扱い・管理・廃棄について学ぶ
6	調剤②	正確に薬用量の計算ができる
7	調剤③	薬袋の記入および処方された薬の内容、記載事項の説明ができる
8	調剤④	内服薬の投薬法の手技を身に付ける。飼い主が家庭で実践できるポイントの説明ができる
9	調剤⑤	外用薬の投薬法の手技を身に付ける。飼い主が家庭で実践できるポイントの説明ができる
10	衛生管理・入院管理①	滅菌・消毒・殺菌の定義を知り、薬剤の使用目的と効果を理解する
11	衛生管理・入院管理②	廃棄物の分類を知り、廃棄物処理法に基づき正しい管理と処理ができるようになる
12	衛生管理・入院管理③	院内の清掃法と衛生管理法について学ぶ

回	テ ー マ	内 容		
13	輸液①	輸液剤の種類を知り、目的と用途を理解する		
14	輸液②	皮下点滴の目的と部位を理解し、必要な準備ができる		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト（インターズー）		期末試験 実習・実技評価 出席率	50.0% 30.0% 20.0%	【事前学習】前回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物人間関係学		動物看護総合学科/3年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的および社会的側面から理解する				
授業終了時の到達目標				
人と動物の調和に関わることを学ぶ				
実務経験有無		実務経験内容		
有		香川県内の動物病院で8年動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	イヌの起源と家畜化①	イヌと人の関係を歴史から振り返る		
2	イヌの起源と家畜化②	家畜化と人の社会への適応		
3	使役動物と人の絆	使役動物と人の絆		
4	アニマルセラピー(AAT)の歴史	動物介在療法(AAT・アニマルセラピー)の概要を知る		
5	動物介在活動(AAA)、動物介在療法(AAT)、動物介在教育(AAE)	AAA、AAT、AAEの概要を知る		
6	ペットと人の絆①	動物が人に及ぼす心理的・生理的・社会的効果		
7	ペットと人の絆②	動物が人に及ぼす心理的・生理的・社会的効果		
8	ペットと人の絆③	動物が人に及ぼす心理的・生理的・社会的効果		
9	子どもの発達と動物の関連性	ペットが関わる人のステージにおける身体的、心理的影響と効果		
10	グリーンチムニーズにおけるHAB	HAB、AAE、AATの活動事例から		
11	子どもの発達と動物の関連性	HAB、AAE、AATの活動事例から考察する		
12	高齢者施設に及ぼすペットの効果	ペットが関わる人のステージにおける身体的、心理的影響と効果		
13	動物がもたらす教育効果・事例	動物が人に及ぼす心理的・生理的・社会的効果について		
14	野生動物と人の関係	人を含め動物を取り巻く環境の遷移		

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験			
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	動物看護の教科書（緑書房）	期末試験 授業態度 出席率	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物感染症学Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉
授業の概要				
<p>伴侶動物であるイヌやネコをはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主にイヌやネコに感染する微生物や寄生虫について、それらの特徴や生活環、感染経路、症状について学習し、予防と看護に活かす。感染症を予防するためには、感染症の発生機序、原因となる病原体についての理解が必要である。「動物感染症学Ⅱ」では、動物をとりまく環境と寄生虫の関係について理解し、寄生虫の生物学的な特徴や寄生虫症についての基礎知識を習得する。主にイヌネコに感染する内部寄生虫の感染経路、病害発生機序、検査法、予防法を学び、飼い主に寄生虫感染予防の大切さを伝えられるようにする。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>イヌネコの内部寄生虫について感染経路の説明ができる。 イヌネコの内部寄生虫について病害発生機序について説明ができる。 イヌネコの内部寄生虫について検査法・予防法について説明ができる。 飼い主に寄生虫感染予防の大切さを説明できる。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院における獣医師としての臨床経験 37年 動物系専門学校における動物看護系教員経験 13年		
時間外に必要な学修				
特になし				
回	テーマ	内 容		
1	動物寄生虫学総論①	歴史 寄生虫・宿主との相互関係		
2	動物寄生虫学総論②	動物寄生虫の分類 寄生虫の生活環と生殖法 感染経路と伝播方式		
3	動物寄生虫学総論③	寄生虫・衛生動物の病害と宿主の反応 人獣共通感染症 (ズーノーシス) 寄生虫症の治療と看護・ケア及び予防 対策		
4	臨床症状がみられる内部寄生虫 消化器症状を示す内部寄生虫①	犬回虫 イヌ鉤虫 イヌ鞭虫 糞線虫		
5	臨床症状がみられる内部寄生虫 消化器症状を示す内部寄生虫②	イソスポラ クリプトスポリジウム ジアルジア		
6	臨床症状がみられる内部寄生虫 消化器症状を示す内部寄生虫③	ネコ回虫 ネコ鉤虫 ネコ糞線虫		
7	臨床症状がみられる内部寄生虫 消化器症状を示す内部寄生虫④	壺型吸虫 トキソプラズマ		
8	臨床症状が見られる内部寄生虫 全身症状を示す内部寄生虫	イヌ糸状虫 肺吸虫		
9	臨床症状が見られる内部寄生虫 全身症状を示す内部寄生虫	バベシア ヘモプラズマ		
10	臨床症状が見られる内部寄生虫 全身症状を示す内部寄生虫	ヘパトゾーン エールリヒア		
11	ほとんど無症状の内部寄生虫①	瓜実条虫		
12	ほとんど無症状の内部寄生虫②	エキノコックス		

回	テ ー マ	内 容		
13	ほとんど無症状の内部寄生虫③	マンソン裂頭条虫 ネコ条虫		
14	まとめと復習	まとめと復習		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト3(ファームプレス) 基礎動物看護学3 動物感染症学(インターズー)		期末試験 出席率 授業態度 課題・レポート	50.0% 20.0% 20.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物感染症学Ⅲ		動物看護総合学科/3年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉

授業の概要

伴侶動物であるイヌやネコをはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主にイヌやネコに感染する微生物や寄生虫について、それらの特徴や生活環、感染経路、症状について学習し、予防と看護に活かす。感染症を予防するためには、感染症の発生機序、原因となる病原体についての理解が必要である。「動物感染症学Ⅱ」では、動物をとりまく環境と寄生虫の関係について理解し、寄生虫の生物学的な特徴や寄生虫症についての基礎知識を習得する。主にイヌネコに感染する内部寄生虫の感染経路、病害発生の機序、検査法、予防法を学び、飼い主に寄生虫感染予防の大切さを伝えられるようにする。

授業終了時の到達目標

病原微生物による感染症について飼い主に説明ができるようになる。
 感染症の予防の重要性を飼い主に説明できるようになる
 ワクチンについて理解し、飼い主にその必要性、注意点が説明できるようになる
 感染症の予防について正しい技術と知識を身に付け、実践できるようになる

実務経験有無	実務経験内容
有	動物病院における獣医師として診療 37年 動物系専門学校教員として教務 14年

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	動物病原体	動物病原体について復習する
2	病原性について	病原微生物の病原性について学習する
3	感染症の予防①	感染の成り立ちに必要な要因から感染予防について考える
4	感染症の予防②	〃
5	感染症の予防③	〃
6	ワクチン①	ワクチンとは何かを学習する
7	ワクチン②	生ワクチンと不活化ワクチンについて学習する
8	ワクチン③	ワクチンの必要性について学習する
9	ワクチン④	ワクチンの効果と副作用について学習する
10	ワクチネーションプログラム①	イヌのワクチネーションプログラムについて学習する
11	ワクチネーションプログラム②	ネコのワクチネーションプログラムについて学習する
12	寄生虫の感染予防①	内部寄生虫の感染予防について学習する

回	テーマ	内 容		
13	寄生虫の感染予防②	外部寄生虫の感染予防について学習する		
14	まとめ	感染予防について全般的な復習		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト3 (ファームプレス) 基礎動物看護学3 動物感染症学 (インターズー)		期末試験 出席率 授業態度 課題・レポート	50.0% 20.0% 20.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
公衆衛生学 I		動物看護総合学科/3年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	鈴木 ひとみ

授業の概要

公衆衛生は、ヒトと動物の全てを対象とした分野であり、獣医療に関わるうえでも重要な分野である。また、関連するさまざまな環境要因とヒトの健康である疾病予防、早期発見、健康維持および増進に役立てる総合的な学科目である。ヒトと動物の共生などを対象とする科目では、人獣共通感染症、食品衛生、環境衛生があり、滅菌と消毒、動物防疫学についても学習する。将来、動物看護師として動物病院で勤務する際に衛生面で注意すべきことを理解し、飼い主への飼育・衛生管理指導に活かすよう学習する。

授業終了時の到達目標

公衆衛生の基本的な考え方を理解し、国民の健康増進、動物福祉、環境保全等に活かせる知識を身につける。

実務経験有無	実務経験内容
有	香川県内の動物病院で6年の勤務、現在はペットショップで勤務する

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	公衆衛生学概論①	動物看護と公衆衛生の関係性を考え、公衆衛生の目的と活動を理解する
2	公衆衛生学概論①	動物看護公衆衛生の活動領域について学ぶ
3	人獣共通感染症とは	人獣共通感染症の定義と現状を知る。また新興感染症と再興感染症の発生要因。
4	伝播様式、予防対策	人獣共通感染症の動物から人への感染様式と、予防対策について学ぶ
5	動物由来の主な人獣共通感染症	イヌ、ネコ、サル類、げっ歯類の主な人獣共通感染症にはどのようなものがあるかを学ぶ
6	ウイルスによる人獣共通感染症①	ウイルスによる主な人獣共通感染症に入る前に、ウイルスの性状について振り返る
7	ウイルスによる人獣共通感染症②	ウイルスによる人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(狂犬病、高病原性鳥インフルエンザ)
8	ウイルスによる人獣共通感染症③	ウイルスによる人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(日本脳炎、ニューカッスル病、ウエストナイル熱)
9	ウイルスによる人獣共通感染症④	ウイルスによる人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(エボラ出血熱、Bウイルス病、ニパウイルス感染症)
10	ウイルスによる人獣共通感染症⑤	ウイルスによる人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(重症急性呼吸器症候群SARS, 牛海綿状脳症)
11	細菌による人獣共通感染症	細菌による主な人獣共通感染症に入る前に、細菌の性状について振り返る

回	テーマ	内 容		
12	細菌による人獣共通感染症	細菌による主な人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ（レプトスピラ症、パストツレラ症、カンピロバクター症、ブルセラ症、）		
13	細菌による人獣共通感染症	細菌による主な人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ（サルモネラ症、腸管出血性大腸菌感染症、炭疽、野兔病、結核）		
14	細菌による人獣共通感染症	細菌による主な人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ（破傷風、細菌性赤痢、ペスト、猫引っかき病、Q熱、オウム病、ツツガムシ病、ライム病）		
15	期末試験	期末試験を実施する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書（緑書房）		期末試験 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
公衆衛生学Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	鈴木 ひとみ
授業の概要				
<p>公衆衛生は、ヒトと動物の全てを対象とした分野であり、獣医療に関わるうえでも重要な分野である。また、関連するさまざまな環境要因とヒトの健康である疾病予防、早期発見、健康維持および増進に役立てる総合的な学科目である。ヒトと動物の共生などを対象とする科目では、人獣共通感染症、食品衛生、環境衛生があり、滅菌と消毒、動物防疫学についても学習する。将来、動物看護師として動物病院で勤務する際に衛生面で注意すべきことを理解し、飼い主への飼育・衛生管理指導に活かすよう学習する。</p>				
授業終了時の到達目標				
公衆衛生の基本的な考え方を理解し、国民の健康増進、動物福祉、環境保全等に活かせる知識を身につける。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		香川県内の動物病院で6年の勤務、現在はペットショップで勤務する		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	真菌による人獣共通感染症①	真菌による主な人獣共通感染症に入る前に、真菌の性状について振り返る		
2	真菌による人獣共通感染症②	真菌による主な人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(皮膚糸状菌症、クリプトコッカス症)		
3	寄生虫による人獣共通感染症①	寄生虫による人獣共通感染症の中で、原虫によるものについて、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(原虫について、トキソプラズマ症)		
4	寄生虫による人獣共通感染症②	寄生虫による人獣共通感染症の中で、原虫によるものについて、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(ジアルジア症、クリプトスポリジウム症、アメーバ赤痢)		
5	寄生虫による人獣共通感染症③	原虫以外の寄生虫による人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(線虫によるもの、条虫によるもの)		
6	寄生虫による人獣共通感染症④	原虫以外の寄生虫による人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(寄生性節足動物によるもの)		
7	滅菌と消毒①	滅菌と消毒の違いについて学ぶ		
8	滅菌と消毒②	物理的滅菌方法について学ぶ		
9	滅菌と消毒③	物理的滅菌方法について学ぶ		
10	滅菌と消毒④	化学的滅菌方法について学ぶ		

回	テ ー マ	内 容		
11	滅菌と消毒④	化学的滅菌方法について学ぶ		
12	人獣共通感染症の対策①	人獣共通感染症の対策について学ぶ		
13	人獣共通感染症の対策②	伴侶動物と共生する上での人獣共通感染症の対策について学ぶ		
14	人獣共通感染症の対策③	院内感染とは何か、またその対策について学ぶ		
15	期末試験	期末試験を実施する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書（緑書房）		期末試験 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護学概論Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
小動物診療は、ますます高度化し動物病院においては獣医師の他に、種々の動物医療関連業務に携わり、かつ飼い主に対する適切な世話や指導を行う動物看護師の重要性が大きくなってきた。獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、社会的債務を理解した動物看護師として獣医師の補助的サポートだけではない、専門職としての職業意識を形成する。				
授業終了時の到達目標				
動物看護師の職域を理解し、動物病院において獣医師・飼い主双方のサポートを行うことのできる人材となる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として22年間、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	動物看護学概論①	動物看護学の中で、動物看護の基本となる概念を学ぶ		
3~4	動物看護学概論②	動物看護学を学ぶ上で、業務を考える		
5~6	動物看護学概論③	動物看護師の倫理について考える		
7~8	動物看護学概論④	動物看護学が必要な場面とはどんな場面なのか。そして動物看護師が活躍できるのはどんな時なのかを学ぶ。		
9~10	動物看護学概論?	動物看護学を実行するうえで必要な動物看護師の視点について学べる。		
11~12	動物看護学概論?	診療場面での動物看護師の役割について知る		
13~14	動物看護学概論⑦	獣医療の歴史、動物看護と国家資格化の軌跡を知る		
15	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の基礎5 (ファームプレス)		期末試験 出席率	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護学概論Ⅲ		動物看護総合学科/3年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
<p>小動物診療はますます高度化し、動物病院においては獣医師のほかに「診療の補助行為をはじめとする種々の動物医療関連業務」に携わり、かつ飼い主に対する適切な世話や指導を行う動物看護師の重要性が大きくなってきた。単に獣医師の補助的サポートをするだけでなく、獣医師が為せる職域ではない「動物看護学」を学び、職域として確立する。動物看護師は、獣医師の業務である診断、処方、手術、予後の判定以外の多岐にわたる業務をこなさねばならない。「動物看護学」では、概論として動物看護技術を身につける以前に必要な要素について概論で学び、動物看護師を目指す目的に向かってステップアップする。</p>				
授業終了時の到達目標				
動物看護師の職域を理解し、動物病院において獣医師・飼い主双方のサポートを行うことのできる人材となる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で22年間勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	動物の看護過程展開①	動物看護を実践するために必要な、動物の看護過程について学ぶ意味を考える		
3~4	動物の看護過程展開②	動物の看護過程とは何か？を知る		
5~6	動物の看護過程展開③	動物の看護過程：展開を学ぶ		
7~8	動物の看護過程展開④	動物の看護過程：展開を学ぶ		
9~10	動物の看護過程展開⑤	動物の看護過程：展開を学ぶ		
11~12	動物の看護過程展開⑥	動物の看護過程：展開を学ぶ		
13~14	動物の看護過程展開⑥	動物の看護過程：展開を学ぶ		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の基礎5(ファームプレス)		期末試験 出席率	50.0% 50.0%	【事前学習】前回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物医療関連法規		動物看護総合学科/3年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾 美花

授業の概要

獣医療における動物看護師の職域や身分などを明示した法令はない。獣医師とのチーム獣医療を構成する動物看護師は、動物看護師が行う獣医医療関連の業務とそれを取り巻く法律の仕組みを基礎から理解し、獣医療現場及び公衆衛生、環境関連の動物関連の法規について理解を深め、動物福祉と安全な社会づくりに貢献する専門職として遵守の精神を養う必要がある。また、社会人として知っておくべき法規について学習する。2009年に日本動物看護職協会が公表した「動物看護者の倫理綱領2009」と「動物看護者の業務指針」(2012)についても学ぶ。

授業終了時の到達目標

獣医療に関わる法律について理解し、動物と人が共存する社会の安全を守るために貢献する動物看護師になる。

実務経験有無

有	実務経験内容 動物病院における獣医師としての臨床経験 37年 動物系専門学校における動物看護系教員経験 13年
---	---

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	法規の概念	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける
2	動物看護師を取り巻く獣医医療関連法規のアウトラインについて	動物看護師を取り巻く法律の概要を知る
3	動物看護師の職域に関連する法規①	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける
4	動物看護師の職域に関連する法規②	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける
5	動物愛護及び管理に関する法律①	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける
6	動物愛護及び管理に関する法律②	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける
7	身体障害者補助犬法	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける
8	狂犬病予防法	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける
9	家畜衛生行政関連法規	動物全般の伝染性疾病について理解する
10	公衆衛生行政関連法規	法の理念と目的を理解し公衆衛生に寄与する
11	薬物関連法規	医薬品、医薬部外品等の有効性及び安全性の確保について学ぶ
12	環境行政関連法規	産業廃棄物処理法を理解する
13	野生動物にかかわる関連法令	法の理念と目的を学び、野生鳥獣の保護と適性狩猟について理解する

回	テ ー マ	内 容		
14	社会人として知っておく必要のなる法律	動物看護師が知っておく必要のある一般法律について理解する		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書（緑書房）		期末試験 出席率	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物福祉・倫理		動物看護総合学科/3年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾 美花

授業の概要

動物看護の実践に必要とされる動物福祉の認識から動物愛護や動物福祉の発展を学び、動物関連法規やヒトの関わりから動物福祉への精神を養う。特に、日本と欧米の歴史から動物観の違いを知り、ヒトと動物の関わり方の変遷を学ぶ。

近代の動物福祉の「5つの自由」を基に、飼育動物にとってそれらが満たされるとはどのような事かを考える。

動物愛護や動物福祉、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。

授業終了時の到達目標

動物看護の実践に必要とされる動物福祉を学ぶことによって個々の動物に応じた「生活の質」とはどんなものか考えられるようになる。飼い主や関係者に動物福祉の概念をつたえられるようになる。

実務経験有無 実務経験内容

有 動物看護師として22年間、動物病院で勤務

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	動物福祉の概念	動物福祉・倫理とは何か
2	動物福祉の歴史①	動物福祉の歴史
3	動物福祉の歴史②	西欧と日本の宗教観・価値観の違いからの動物愛護や動物福祉の発展
4	日本の動物愛護および管理に関する法律について理解する	動物の愛護管理法の概要を知る
5~6	獣医療における倫理	獣医療の現場で直面する生命倫理について
7	動物保護施設アニマルシェルターについて	収容動物福祉について理解する
8	学校飼育動物	国際的な福祉基準について
9	産業動物の福祉	産業動物の福祉
10	実験動物の福祉	3Rの原則について
11~12	展示動物の福祉	展示動物の福祉について
13	野生動物の福祉	野生動物の福祉
14	ペットロスについて	ペットロスについて知る
15	期末テスト	期末テスト

回	テ ー マ 教科書・教材	内 容		
		評価基準	評価率	その他
	人と動物の関係 1 (ファームプレス)	期末試験 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学		動物看護総合学科/3年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	小松 志帆
授業の概要				
様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する				
授業終了時の到達目標				
動物病院業務に必要な知識を修得する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		獣医師として10年、動物病院で勤務する		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	臨床検査の基礎①	1) 臨床検査における動物看護師の役割		
2	臨床検査の基礎②	1) 検体の種類や目的に応じた検査法 2) 適切な検体の取り扱い		
3	血液検査①	1) 血漿、血清の分離法 2) 全血球計(CBC) 3) 血液塗抹の作成法		
4	血液検査②	1) 骨髄検査の目的と意義 2) 凝固検査の目的と意義		
5	血液検査③	1) 生化学検査の目的と意義 2) 血液ガス検査の目的と意義		
6	尿検査	1) 採尿法の種類と検体材料の適切な取り扱い 2) 尿の性状検査 3) 尿沈渣		
7	糞便検査①	1) 糞便の一般性状、顕微鏡検査、検査法の種類		
8	糞便検査②	1) 採便法 2) 虫卵・原虫の検出法 3) 細菌の観察法		
9	細胞診と病理組織検査	1) 細胞診の目的と方法 2) 病理組織検査のための検体取り扱い法		
10	遺伝子検査	1) 遺伝子検査の目的と応用例 2) 遺伝子検体の採取および取り扱い法		
11	心電図検査と血圧測定①	1) 心電図検査の目的と意義 2) 心電図検査の実施方法		
12	心電図検査と血圧測定②	1) 血圧測定の方法と意義、注意点		
13	X線検査とCT、MRI検査①	1) X線装置の基本原理 2) X線検査の目的と意義 3) X線検査の実施方法、撮影条件の設定と準備、撮影体位		
14	X線検査とCT、MRI検査②	1) 被ばくの問題点と被ばく管理法 2) フィルムの現像手順とフィルム管理、廃液処理 3) デジタルX線撮影		

回	テーマ	内容
15	X線検査とCT、MRI検査③	1) 造影検査、透視撮影 2) CTおよびMRIの基本的知識

回	テ ー マ	内 容		
16	超音波検査	1) 超音波検査の目的と実施方法、保定体位 2) プローブの種類と取り扱いの注意 3) Bモード、Mモード、ドップラー法		
17	内視鏡検査	1) 内視鏡検査の目的と意義 2) スコープの洗浄・消毒における注意点		
18	神経学的検査①	1) 動作、反応、外見の観察 2) 必要な器具の準備と保定、補助、結果記録の記入		
19	神経学的検査②	1) 姿勢反応と脊髄反射		
20	神経学的検査③	1) 脳神経の検査法		
21	神経学的検査④	1) 脊髄反射試験 2) 知覚検査		
22	眼科検査①	1) シルマー試験、フルオレセイン試験の方法と意義		
23	眼科検査②	1) 眼圧測定の方法と意義		
24	眼科検査③	1) 眼底検査の方法と意義		
25	皮膚と耳の検査①	1) 皮膚病変の観察 2) 皮膚病変の記録法		
26	皮膚と耳の検査②	1) 皮膚搔爬試験 2) 押捺検査		
27	皮膚と耳の検査③	1) 毛検査 2) 皮膚生検		
28	皮膚と耳の検査④	1) ウッド灯検査 2) 真菌培養法		
29	皮膚と耳の検査⑤	1) 外耳道の検査方法と意義		
30	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
コアテキスト第6巻（ファームプレス）		期末試験 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物医療コミュニケーション		動物看護総合学科/3年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
動物とともに暮らす上で、必要な日常健康管理に関わる飼い主教育や事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
飼い主教育がなぜ必要か理解し、適正に飼い主のニーズに応じたコミュニケーションを取ることが出来る人材になる。 満足していただけるホスピタリティーとは何かを考えて実践できる人材になる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として22年間、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	クライアントエデュケーション概論	何が、なぜ必要か、どのようにすすめるかオリエンテーション		
2	クライアントサービス	クライアントが求める条件		
3~5	適正飼育について 動物と飼い主が良好な関係を構築する手法	適正飼育について説明できるようになる 人畜共通感染症		
6	院内コミュニケーション	飼い主教育を主体としたインフォームド・コンセントを理解する		
7	医療面接のプロセスを理解する	稟告・質問・傾聴などを理解する		
8	受付・クライアントコミュニケーション	ホスピタリティーの意味を知る		
9~10	クレームの対処法	クレームの対処法		
11	スタッフコミュニケーション	チーム医療に関するコミュニケーション技能を理解する		
12	院内マネジメント	受付業務について理解する		
13~14	グリーフケア	動物の看取り、お別れ、お見送りの対応と禁忌		
15	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の基礎 5		期末試験 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
卒業研究ゼミⅡ		動物看護総合学科/3年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
2年時後期に決定した研究内容(テーマ)について引き続き研究を行い、前期最後には各グループの研究結果を発表する				
授業終了時の到達目標				
自分の対象とした研究分野への理解				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として8年、動物病院に勤務する		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~3	中間発表	現在までの進捗度を報告する		
4~14	研究、発表用PP作成	引き続き研究を行い、発表用のPPも作成する		
15~17	中間発表	現在までの進捗度を報告する		
18~27	研究・発表用PPの作成	引き続き研究を行い、発表用のPPも作成する		
28~30	研究発表	自分たちの研究してきた内容の発表		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
卒業研究予算として1000円/人		課題・レポート 出席率	50.0% 50.0%	【事前学習】卒業 研究に必要なデータ 収集

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護総合実習Ⅲ		動物看護総合学科/3年	2020/後期	外部実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身に付けた知識や技術を総合的に実践する。また、牧場や動物園、水族館など様々な職場でのインターンシップを通じて、動物関連業務における広い知識を身に付ける				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物病院の概要(地域特性、診療方針、スタッフの構成等)を理解し、チームで行う愛玩動物に対する医療を体験する ・総合的な動物看護の実務に関わる指導を受け、動物看護師の実務能力を修得する ・動物看護師としての役割や責任について、認識を深める 				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~5	実務型実習	オリエンテーションを受け、動物看護師として実際に就業することを理解する		
6~10	実務型実習	指導者の助言を受けながら、動物病院における獣医師との連携の中で看護計画の展開を修得し、動物看護実務を遂行できる能力を養う		
11~15	実務型実習	動物看護に関する多くの項目についての技術を、可能な限り体験し学習する		
16~20	実務型実習	動物病院内における、動物看護師の役割やチームで行う愛玩動物に対する医療の機能、行動、責務について考えることができる		
21~25	実務型実習	動物愛護の精神、言葉遣い、プライバシーの尊重など、基本的な事項についての認識を深める		
26~30	実務型実習	学内でのカリキュラムや各教科と、動物病院における実際の動物看護業務との関連を十分に把握し、実践に活かす		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	・「動物看護総合実習」の成績評価については、インターンシップ評価表の結果をもとに

回	テ ー マ	内 容	
			点数化し評価する 【衛生・健康管理】（優）8点 （良）7点（可）6点（不可）5点 【接遇マナー、勤務状態】（優）6点（良）5点 （可）4点（不可）3点 ・合計で100点満点とする

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アニマルセラピー実習 I		動物看護総合学科/3年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤小, 長尾
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物介在活動の意義を理解する ・よりよい活動方法を考える 				
授業終了時の到達目標				
■通年到達目標とする <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズなコミュニケーションが取れるようになる ・動物を介して、よりよい活動を工夫することができるようになる ・活動による色々な変化に着目し、考えることができるようになる 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	齋藤小百合: 動物看護師として12年の実務経験。 これまでの臨床経験を活かし、動物を介しての人との関わり方を指導する			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	アニマルセラピーとは	アニマルセラピーを理解する		
3~15	AAA実習	デイサービス、グループホーム、幼稚園におけるAAA実習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アニマルセラピー入門		出席率 実習・実技評価	50.0% 50.0%	【事前準備】セラピーに連れて行く 担当犬の衛生管理 (シャンプー、レクリエーション準備)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アニマルセラピー実習Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤小, 長尾
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物介在活動の意義を理解する ・よりよい活動方法を考える 				
授業終了時の到達目標				
■通年到達目標とする <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズなコミュニケーションがとれるようになる ・動物を介してよりよい活動を工夫することができるようになる ・活動による色々な変化に着目し、考えることができるようになる 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	動物看護師として8年、動物病院に勤務する。			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~15	AAA実習	デイサービス、グループホーム、幼稚園におけるAAA実習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アニマルセラピー入門		出席率 実習・実技評価	50.0% 50.0%	【事前準備】セラピーに連れて行く担当犬の衛生管理(シャンプー、レクリエーション準備)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
大動物実習		動物看護総合学科/3年	2020/前期	外部実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤 小百合

授業の概要

伴侶動物とは異なる生理・生態・行動・習性・疾病・飼育管理方法などを学ぶことにより、大動物臨床現場において応用可能な知識・技術を習得し、臨機応変な対応・考え方のできる動物看護師となり、社会人として必要な教養や一般常識を身に付けることが重要である。それぞれの動物に対し、伴侶動物とは異なる愛護精神が必要となるため、多様性のある物事のとらえ方、動物との接し方・技術を学び、かつ動物看護師としてどのように関わっていくかを考え思慮を深める。

授業終了時の到達目標

産業動物の社会的役割と目的、管理について理解し、多方向から看護対象をとらえることが出来る看護感を養うとともに、正しい知識を身に付けてそれを社会に普及・啓発し動物福祉の観点からヒトと動物の共生に寄与する人材となることを目指す。

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	産業動物学授業の導入	産業動物とはどのような動物か。 産業動物の社会的役割と目的。 産業動物と伴侶動物の違いは何か。
2	ウシ①	ウシの歴史、特性・品種
3	ウシ②	ウシの解剖生理・繁殖生理
4	ウシ③	ウシの飼育管理
5	ブタ①	ブタの歴史、特性・品種
6	ブタ②	ブタの飼養管理
7	ニワトリ①	ニワトリの歴史、特性、品種
8	ニワトリ②	ニワトリの飼養管理
9	ウマ①	ウマの歴史、特性、品種
10	ウマ②	ウマノ飼養管理
11	ヒツジ・ヤギ	ヒツジ・ヤギの歴史、特性、品種 ヒツジ・ヤギの飼養管理
12	畜産業について	我が国の畜産業の概要 地域による特性
13	産業動物の動物福祉①	産業動物の福祉改善の歴史と定義 産業動物の飼養概況と動物福祉の課題

回	テーマ	内容		
14	産業動物の動物福祉②	産業動物に関する国際的福祉基準 動物		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト4（ファームプレス） 動物看護の教科書4（緑書房） 応用動物看護学3（インターズー）		期末試験 実習・実技評価	50.0% 50.0%	